

令和3年度大気環境保全活動功労者表彰及び 水・土壌環境保全活動功労者表彰の受賞者の決定について

令和3年12月23日（木）

〈栃木県、富山県、静岡県浜松市、愛知県春日井市、京都府、徳島県、香川県、熊本県熊本市同時発表〉

大気環境及び水・土壌環境の保全に関し顕著な功績のあった団体や個人に対し、その功績をたたえるため、環境省水・大気環境局長から表彰状を授与します。

なお、表彰状の伝達は、推薦地方公共団体等から行われます。

1. 大気環境保全活動功労者表彰

大気汚染、騒音・振動、悪臭の防止等、大気環境の保全に係る活動に従事し顕著な功績のあった団体及び個人を表彰します。

受賞者数：2（個人：2名）※詳細は別紙1のとおり

2. 水・土壌環境保全活動功労者表彰

地域における河川等の水質浄化、生活排水対策等の普及啓発、水生生物の調査などを通じ、水・土壌環境の保全に関し顕著な功績のあった団体及び個人を表彰します。

受賞者数：15（団体：11団体、個人：4名）※詳細は別紙2のとおり

【別紙参照】

- ・ 別紙1 令和3年度「大気環境保全活動功労者表彰」受賞者一覧（敬称略）
- ・ 別紙2 令和3年度「水・土壌環境保全活動功労者表彰」受賞者一覧（敬称略）

環境省水・大気環境局総務課

代 表 03-3581-3351

直 通 03-5521-8286

課 長 飯田 博文（内線 6510）

課長補佐 藤田 佳久（内線 6513）

担 当 井上 昇（内線 6518）

環境省水・大気環境局水環境課

代 表 03-3581-3351

直 通 03-5521-8304

課 長 川又孝太郎（内線 6610）

課長補佐 滝田 暁夫（内線 6612）

令和3年度「大気環境保全活動功労者表彰」受賞者一覧(敬称略)

別紙1

推薦者	団体	個人	主な功績
長野県		はらだ つとむ 原田 勉	昭和53年4月に長野県職員に採用され、保健衛生分野も経験しながら有害大気汚染物質や酸性雨の測定、調査研究に従事した。特に、酸性雨の調査研究においては、環境省から長野県に管理を委託されている国設八方尾根酸性雨観測所の管理、分析業務を担当して得られた測定結果と県内の観測点の調査結果をまとめて、県内の酸性雨の実態を明らかにするなど多くの成果を成し遂げた。また、全国環境研協議会の共同研究として現在も継続して行っている酸性雨全国調査に長野県が参画する際には主担当者として力を尽くして礎を築き、平成23年度からは長野県環境保全研究所の部長を務め、その実績と技術をもって研究所職員の技術伝承に尽力し、長年にわたり長野県の大気環境保全に大きく貢献した。
大阪府		たにぐち やすひこ 谷口 靖彦	大阪府環境影響評価条例の制定や技術指針の策定にあたり中心的な役割を果たすなど、環境影響評価行政に長年にわたって尽力し、大気汚染や騒音振動をはじめとする環境影響を最小限にとどめるとともに、持続的発展が可能な社会の構築に取り組んだ。また、微小粒子状物質(PM2.5)の常時監視体制・注意喚起体制の構築や、アスベストの飛散防止対策における関係団体との連携体制の構築に尽力するなど、大阪府の大気環境・騒音振動保全行政に大きく貢献した。府を退職した現在においても、国の審議会の委員を務めるなど、全国における大気環境・騒音振動保全行政の推進に尽力している。

団体 0

個人 2

合計 2

	推薦者	団体	個人	主な功績
1	栃木県	真岡児童館「やさしくラブ」 も おか し どう かん 「 や さ し く ラ ブ 」		真岡児童館「やさしくラブ」は、公害防止・環境保全などの活動により地域との交流を通して奉仕の心を育むことを目的に設立され、現在、児童館に在籍する生徒約100名が所属している。同クラブでは、地域の里山林・河川での公害対策及び森林保全活動、エコミーティングの開催、磯山宿泊体験、夏祭りでの3R活動・寄付、エコキャップ回収・古着支援、壁新聞の作成を通じた調査研究の活動を柱に、公害対策及び気候変動対策に取り組んでいる。
2	富山県	生地あいの会 い く じ あ い の か い		生地あいの会は、平成13年の設立以来20年間にわたり、黒部市生地地区において、全国名水百選「黒部川扇状地湧水群」を構成するくろべ名水公園等の湧水施設や、名所旧跡の清掃活動・景観維持活動を行っている。また、近隣の小学校と合同で清掃活動を行うなど、児童の水環境保全意識の高揚に貢献している。
3	富山県	常西プロムナー ト・名水と桜を愛する会 じ ょ う さ い ぶ る む な ー ト ・ な む い と さ く ら を あ い す る か い		平成21年頃に近隣住民の有志により発足し、「とやまの名水」(富山県選定)に選定されている常西合口用水周辺の清掃活動、花壇の整備や苗植え、桜並木の植栽管理等に取り組んでいる。また、近隣の大学生と合同で清掃活動を行うなど、水環境保全に対する若者の理解の増進に貢献している。
4	愛知県		あまの ひろし 天野 博	矢作川流域の関係自治体、農業・漁業団体から構成される矢作川沿岸水質保全対策協議会において、開発行為等に伴う水質汚濁の防止要請・パトロール、工場・事業場等への汚水流出防止要請、流域住民交流事業等を実施した。また、平成18年度からは同協議会の事務局長に就任し、前述の活動が国連環境計画等の河川・湖沼の流域管理に関するケーススタディーでも取り上げられるなど、国際的にも評価される「矢作川方式」と呼ばれる流域管理システムを先頭に立って推進する等、普及啓発に尽力した。長年にわたりこれらの活動を実施することで矢作川流域の水環境保全に貢献した。
5	愛知県	上地蔵川美化推進協議会 か み じ ぞ う が わ び か す い し ん き ょ う ぎ か い		市内を流れる地蔵川沿線の5区・町内会で構成する上地蔵川美化推進協議会が、春日井市河川浄化モデル地区の指定を受け、区域内を流れる地蔵川において、年3回の除草及び清掃活動を行うとともに、毎月1回の水質調査及び河川パトロールを行い、地域の水環境の保全に貢献している。
6	京都府	京都府立北嵯峨高等学校 き ょ う と ふ り つ き た さ が こ う とう が っ こ う		生物部が、学校近くを流れる有栖川の源流を含めた水質調査及び琵琶湖の水質調査を継続的に行っている。また、大学や地域等と連携し、世代を超えた水環境問題に関する意識の共有、地域の川の水環境保全に努めている。
7	徳島県	千年サンゴと生きるまちづくり協議会 せ ん ね ん さ ん こ と い き る ま ち づ く り き ょ う ぎ か い		徳島県海部郡の牟岐大島の内湾に生息する希少な自然遺産である「千年サンゴ」をシンボルとして、その保全活動及び周辺海域の生物環境調査を行うとともに、地元小学校における環境学習やパネル・映像展示、ホームページによる広報等により、水環境保全の必要性について、啓発を続けている。
8	徳島県	北島町立北島南小学校 き た じ ま ち ょ う り つ き た じ ま み な み し ょ う が っ こ う		平成17年度より「学校版環境ISO推進事業」に参加し、地域の環境保全活動に継続的に取り組んでいる。身近な川に関心を高め、水環境保全活動に理解を深めることを目的に、学校近くを流れる今切川の水質調査を実施するとともに、川の役割や水環境について学ぶなど、地域の水環境保全・普及啓発に貢献している。
9	香川県	逆瀬池周辺の自然を守る会 さ か せ い け し ゅ う へ ん の し ぜ ん を ま も る か い		会発足の昭和60年から36年の長期にわたり、逆瀬池周辺の清掃活動、草刈りを行っている。なお、平成13年に県が逆瀬池を「残したい香川の水環境50選」に認定してからは、当該団体は逆瀬池の水環境保全推進員を委嘱されている。

	推薦者	団体	個人	主な功績
10	香川県	かがわ けんりつ た どつ 香川県立多度津 こうとう がっこう せいぶつかが 高等学校 生物科 くぶ 学部		身近な川に関心を高め、水環境保全活動に理解を深めることを目的に、平成21年、平成23年、平成24年、平成26年～令和3年の計11年間にわたり、年1回、金倉川で水生生物による水質調査を行っている。また、平成26年からは、近隣の西白方海岸の海岸漂着ごみ回収活動を年に数回行っている。同じく平成26年度から、90の水槽で飼育管理している絶滅危惧種や外来種を含めた100種の水生生物を、年に数回「ミニ水族館」として一般公開し、生物多様性の大切さについて啓発を行っている。
11	愛媛県	まつやま しりつ はぶちゆう 松山市立垣生中 がっこう 学校		全校生徒が地域住民と協力して、年に複数回、合計約550名規模で、地域にある今出ヶ浜の海岸清掃を行うとともに、海岸に生息している環境指標生物であり準絶滅危惧種にも指定されている小型のカニ「ハクセンシオマネキ」や越年草の「ハマサジ」等の生息状況を観察することにより、環境が改善されていることを確認している。また、当該活動をきっかけに、子供を含めた地域住民による定期的な海岸清掃活動が開始されるなど周辺住民の環境保全意識の高揚にも大きく貢献している。
12	愛媛県	まつやま しりつ あさ なみしyou 松山市立浅海小 がっこう 学校		地域の方と協力して浅海海岸の清掃を毎年行い、海岸の環境保全に学校全体で取り組んでいる。また、浅海海岸の環境を把握し、地域の海岸に親しむため、1・2年生の生活科で「海岸の生き物探し」を実施するとともに、3～6年生の総合的な学習の時間では「塩作り」や「生き物調べ」等の浅海海岸についての学習を行っている。なお、長期にわたる当該活動は、地域住民の環境保全意識の高揚にも寄与しており、地域住民主催の海岸清掃活動も開始されている。
13	宮崎県		とよ みつ ゆきお 豊満 幸雄	都城盆地エリアの水源となっている地下水の保全のため、都城市が設立した「都城盆地地下水保全対策連絡協議会」において、設立当初から盆地内浅井戸(延べ約1,200本)の硝酸性窒素濃度の測定を実施することで、同盆地内における浅井戸の硝酸性窒素による汚染状況を把握し、都城地域の地下水保全に長期間にわたって努めた。
14	浜松市		すず き はるみつ 鈴木 春光	平成21年度から現在に至るまで、12年にわたり、芳川をきれいにする会の役員として、以下の継続的な活動を通じ、2級河川芳川及び準用河川東芳川の水環境保全の普及啓発に貢献している。染色工場の排水による芳川の色汚染対策 6年間 計9回。芳川クリーン作戦、不法投棄物の回収パトロール、流域小中学生を対象とした水生生物調査・ボート乗船による芳川の汚れ体験学習、河川の浄化活動等に関する研修 12年間 年1回。
15	熊本市		ながた つとむ 永田 努	平成2年4月に熊本市職員に採用され、74万市民の水道水源である地下水を将来に確実に伝えるための水質・水量保全対策に16年に亘り取り組んできた。特に、近年は水質保全の喫緊の課題である硝酸性窒素削減対策として市東部地域の家畜排せつ物を適正に処理するための「東部堆肥センター」の整備を行った。また、この間、市民・事業者・行政協働による本市の地下水保全の取組は「2013年国連“国連生命の水”最優秀賞」を受賞した。受賞に際しては、国連との連絡・調整等中心的な役割を果たした。

団体 11

個人 4

合計 15